

## 令和4年度 生活支援事業協議体 進捗状況

|    | 分類              | 内容  | 対応  |
|----|-----------------|---|---|
| 1  | スマホ講座           | 5/12.19、6/9.16、9/22.29スマホ講座実施。                      | 毎回、申し込み希望が多く、定員に対して2倍以上の希望。9月の講座からは往復はがきによる受付にしたが、希望者は同じく定員20人に対して、44名の申し込みがあった。  |
| 2  | スマホ相談会          | 6/20.27午前9時から午後1時に2回実施。                             | 今回の相談会は、5.6月のスマホ講座のキャンセル待ちをされた方にご案内した。2日間で計23名の方が相談会に来場された。   |
| 3  | スマホ相談会          | 東京都から定期スマホ相談会の提案あり。                                 | 継続して学ぶ場が必要という課題に対応するため検討し、実施することとした。ひがし包括金子さんに菊屋文具店さんのスペースお借りできないかつないでいただき10月、11月は月2回の開催ができることになった。12月以降も実施予定。                            |
| 4  | サブスタッフ卒業生交流会    | 7/7萌え木ホールにて卒業生交流会実施。                                | 「サブスタッフ卒業生 名称 検討」「～これから地域で私ができることやりたいこと～」「市が抱えている課題について」「講座運営ボランティアについて」11名参加。  |
| 5  | 短期集中サービスC事業     | 第1クール 開始前会議5/30、開始後会議9/12実施<br>第2クール 開始前会議8/25、     | 生活支援コーディネーターも参加し、事業終了後地域の中で参加できる地域資源等を提案した。   |
| 6  | 東京ホームタウンプロジェクト  | 新プログラム、課題解決力”共有化”プログラムエントリー                         | 啓発チラシ作成支援、どのように啓発をしていくかマーケティング調査の2本柱で伴走支援していただくおとに決定。   |
| 7  | 東京ホームタウンプロジェクト  | 9/6、第1回高齢者になるとおこりうること」啓発パンフレットづくり検討会ワークショップ実施。      | 約40名参加。金融機関、地域住民、老人クラブ、協議体委員が集まり、この課題に取り組むことになった経緯を説明。グループで課題について検討を行った。第2回は10/8実施予定。   |
| 8  | 三井住友信託銀行との情報交換会 | 包括(7名)、社協(1名)、市(2名)、銀行(3名)顔合わせと情報交換を行った。8/24AM10-11 | 三井住友信託銀行、地域貢献ができないかとの相談があり、市に来庁。高齢者対応や元気なうちにやれることをして欲しいというお話があった。包括や社協とも情報共有してはどうかと思い、情報交換会等形で実施した。本来は、対面を予定していたのですが、コロナ感染拡大のためオンラインとなった。 |
| 9  | JKK住まいるアシスタント   | JKK住まいるアシスタント連絡会情報共有、サロン活動支援<br>6/15市来庁、7/20連絡会参加   | JKK所有のコミュニティサロンの活用について支援。生活支援コーディネーターと連携して場所の活用につながった。  |
| 10 |                 |   |   |
| 11 |                 |   |   |
| 12 |                 |   |   |